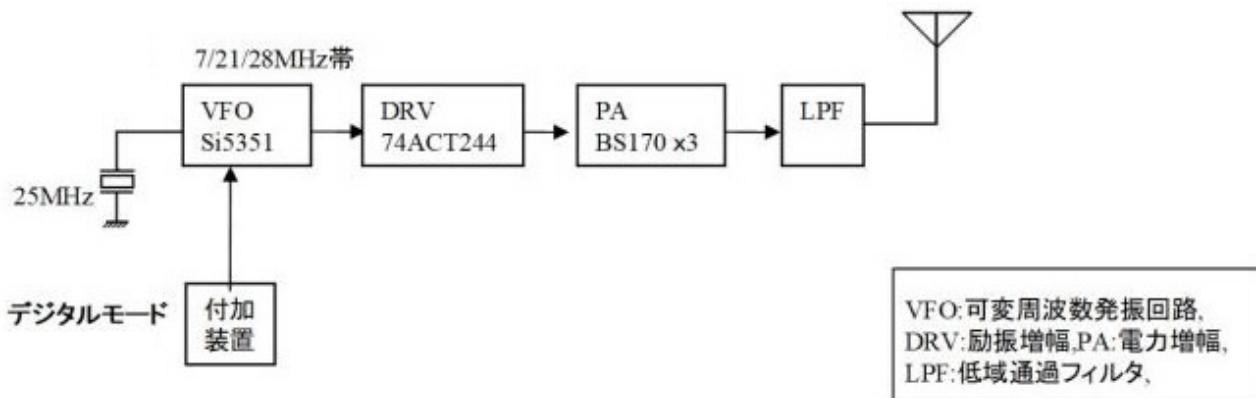


送信機系統図

図1 送信機系統図



スプライアス発射・不要発射の測定

空中線電力1W 以下に適用される許容値

- 帯域外領域におけるスプライアス発射 : $100\mu\text{W}$ (-10dBm) 以下
- スプライアス領域における不要発射 : $50\mu\text{W}$ (-13dBm) 以下

測定系

構成要素	設定値・備考
外部固定減衰器	30 dB (基準レベル補正に使用)
スペクトラムアナライザ内部 ATT	0 dB
Span	<ul style="list-style-type: none"> 帯域外領域 : 40kHz ($f_c \pm 20\text{kHz}$) スプライアス領域 : $9\text{kHz}-350\text{MHz}$

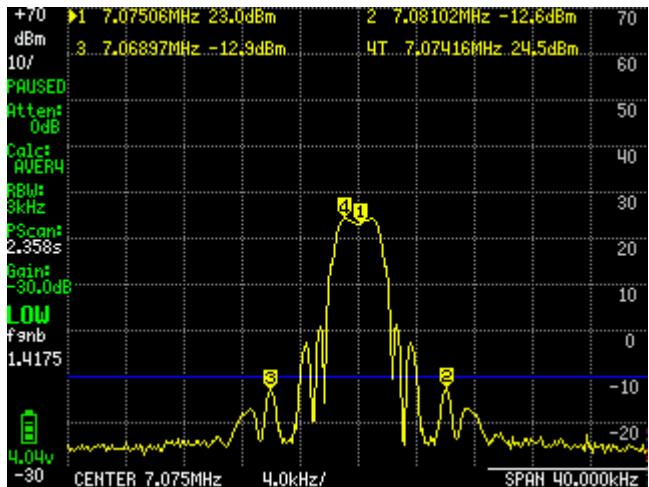
図2 測定系統図



帯域外領域 ($f_c \pm 20\text{kHz}$)

青線は許容値 **-10dBm** を示します。最大ピーク **-12.7dBm < -10dBm** ⇒ 適合。

図3 帯域外領域スペクトル (Span 40 kHz, RBW 3 kHz)

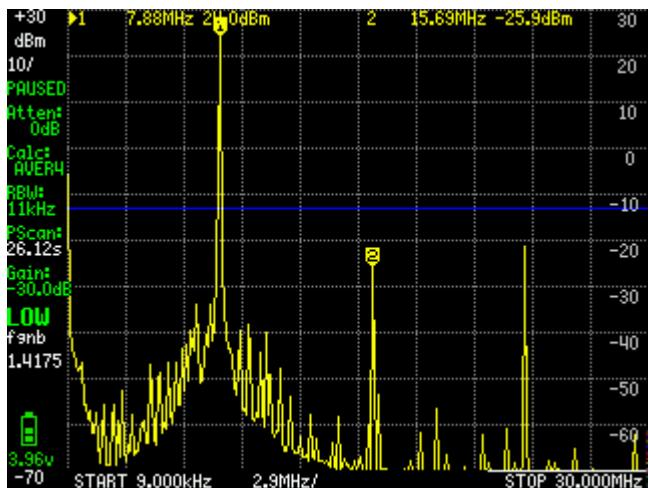


スプリアス領域

9kHz–30MHz

青線は許容値 **-13 dBm** を示します。最大ピーク **-25.9 dBm < -13 dBm** ⇒ 適合。

図4 スプリアス領域スペクトル (9kHz–30MHz, RBW 10kHz)



9 kHz–350 MHz

青線は許容値 **-13 dBm** を示します。最大ピーク **-24.9 dBm < -13 dBm** ⇒ 適合。

図5 スプリアス領域スペクトル (9 kHz–350 MHz, RBW 100 kHz)

